

～学校だより～

南風

第2号 (H26・4・23)

編集；校長 知本

《創立記念特集 第2回》

南佐渡中学校開校する

去る4月7日(月)、南佐渡中学校開校式が行われ、南佐渡中学校が、歴史的な第一歩を踏み出しました。式は、中野県議会議長等31名の来賓のご臨席のもと、甲斐市長をはじめとする佐渡市当局、在校生、教職員併せて160人が出席し、**厳粛な内にもあたたかな雰囲気の中**で行われました。まず、宮川安則教育委員長が、次のように高らかに開校を宣言しました。

開校宣言

ここに 平成26年4月1日付 佐渡市の中学校教育の一翼を担う学校としてより一層の充実と発展を願い 佐渡市立南佐渡中学校の開校を宣言します

平成26年4月7日 佐渡市教育委員会

そして緊張の内に、学校のシンボルである校章が刺繍された真新しい校旗が、宮川教育委員長から校長知本に手渡され、ここに南佐渡中学校が開校したのです。そして、校長のあいさつ(前号掲載。ご参照下さい)のあと、生徒代表の佐藤さんが力強く次のように感謝と決意の言葉を述べました。

感謝の言葉

(前略)私たちは、皆様の思いがいっぱい込められた南佐渡中学校の名に恥じぬよう、小木中学校、羽茂中学校両方の良さを受け継いで、新しい伝統を創り上げて行きます。

(後略)

続けて、満場の拍手の中、校歌の制作者である狩野泰一さんに花束が贈呈され、最後に在校生が会場を圧倒する声で校歌を歌いました。南佐渡中学校に命が吹き込まれた感動的な瞬間です。南佐渡中学校の出発にふさわしい清々しい開校式でした。



【宮川教育委員長から校旗の授与】

南佐渡中学校に命が吹き込まれた感動的な瞬間です。南佐渡中学校の出発にふさわしい清々しい開校式でした。

◇ 開校式を迎えて

生徒達は開校式をどう迎え、何を感じていたのでしょうか。やる気いっぱいの3年生の感想を紹介します。

絆を深めて

3年 女子

ランチルームに全校がそろった時に、人数が多くて統合を実感しました。校歌の声も、倍大きくて、**とても迫力がありました。**

まだ馴れなくて不安な部分もあるけれど、**このメンバーとの絆を深めて、体育祭、文化祭を成功させていきたいです。**

後輩の手本になるように

3年 男子

僕は、開校式の時に、南佐渡中学校の3年生になるんだと実感がわいたし、今まで以上にがんばらないと思いました。**最初の3年生なので、後輩の手本になるよう頑張りたいです。**

行事なども、**最初の土台となるように頑張り、羽茂中の人と仲良くなり**たいです。



【狩野さんへ花束の贈呈】



【響き渡った初めての校歌】

◇ 中学生になって

開校式に引き続き入学式が行われ、41名の1年生を迎えました。南佐渡中学校の第一期生であり、これから南佐渡中学校の土台を築いて行く学年です。「中学生になった」ととても初々しい感想を紹介します。

- ・ 人生一回しかない中学校の入学式を祝ってもらってうれしかった。(男子)
- ・ 新しい校舎はとてもきれいで、ドキドキしています。(女子)
- ・ 羽茂の人たちと合体して一緒に中学校に行けると思うと、うれしくなりました。(男子)
- ・ いろいろ不安はあったけど、入学式が終わったら、**今までの不安は何だったんだ？**と思う位、スッキリしました。(女子)
- ・ 始まる時、緊張してしまいました。**他の皆も真剣にやっています。だから僕も、真剣にできました。**生徒会長、カッコ良かったです。(男子)

※以下、プライバシー保護のため内容を省略しています。